一般社団法人　大牟田薬剤師会

貸借対照表

平成30年3月31日現在

（単位：円）

科　　　　目	当　年　度
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
預金現金	8,426,655
未収金	3,200
流動資産合計	8,429,855
2．固定資産	
(1)基本財産	
基本財産合計	0
(2)特定資産	
事務局移転積立金	1,500,000
特定資産合計	1,500,000
(3)その他固定資産	
敷金	244,500
その他固定資産合計	244,500
固定資産合計	1,744,500
資産合計	10,174,355
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	
未払費用	456,784
預り金	140,423
流動負債合計	597,207
2．固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	597,207
Ⅲ　正味財産の部	
1．指定正味財産	
2．一般正味財産	9,577,148
正味財産合計	9,577,148
負債及び正味財産合計	10,174,355

一般社団法人　大牟田薬剤師会

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：円）

科　　　　目	当　年　度
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1.　経常増減の部	
(1)経常収益	
受取入会金	
A会員入会金（@200,000×2名、@100,000×1名）	500,000
B会員入会金（@20,000×10名、@5,000×3名）	215,000
受取入会金計	715,000
受取会費	
A会員会費（@30,500×69名、@15,250×1名）	2,119,750
B会員会費（@11,000×106名、@5,500×9名）	1,215,500
保険薬局会費	6,071,678
受取会費計	9,406,928
事業収益	
運営協力金	4,032,440
受講料収入	6,000
申請料負担金収入	16,202
補助金収入	30,000
雑収入	2
事業収益計	4,084,644
受取補助金等	
受取民間補助金	246,500
雑収益	
受取利息	1,292
お薬手帳収入	150,550
図書・用品収入	43,560
雑収益	206,123
雑収益計	401,525
経常収益計	14,854,597
(2)経常費用	
事業費	
給料手当	3,383,149
法定福利費	31,085
福利厚生費	96,000
事業活動費	777,186
通信費	437,786
備品消耗品費	5,949
事務消耗品費	1,225
水道光熱費	6,378
賃借料	141,000
保険料	0
諸謝金	33,411
支払負担金	50,000
図書研究研修費	24,688
リース料	7,594
広告掲載料	23,200
会場使用料	18,936
保守料	41,580
雑費	18,750
事業費計	5,097,917

科　　　　目	当　年　度
管理費	
役員報酬	500,000
給料手当	1,996,860
法定福利費	19,924
福利厚生費	120,000
交際費	231,000
旅費交通費	29,100
通信費	379,681
備品消耗品費	0
事務消耗品費	124,418
賃借料	1,159,920
保険料	37,400
租税公課	21,195
支払寄付金	5,000
リース料	124,740
管理諸費	756,000
県薬事業協賛金	160,496
広告宣伝費	37,400
総会等費	396,770
代議員会費	48,200
理事会費	549,000
図書研究研修費	46,094
諸活動費	(556,924)
県薬関係	66,000
連携関係	246,000
その他	244,924
雑費	(107,510)
事務局管理費	21,000
会計管理	18,000
HP関連	8,078
その他	60,432
管理費計	7,407,632
経常費用計	12,505,549
評価損益等調整前当期経常増減額	2,349,048
当期経常増減額	2,349,048
2.　経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,349,048
当期一般正味財産増減額	2,349,048
一般正味財産期首残高	7,228,100
一般正味財産期末残高	9,577,148
Ⅱ　指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
Ⅲ　正味財産期末残高	9,577,148

監査報告書

平成 30 年 4 月 20 日

一般社団法人大牟田薬剤師会
会　長　橋本　和樹　殿

監　事　　西山　典人　印

監　事　　鵜生　康弘　印

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書）、財産目録について検討いたしました。

2　監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上